

児童支援強化

発達障害

避難民最定着 (resettlement)

小児ケア

児童福祉

若年プログラム

発達障害

ヘッドスタート

AoA

調査、訓練、自由裁量 (discretionary)

ASPE

政策研究

OPHS

SAMHSA

薬害予防と治療

ブロック補助金 (block grant)

精神衛生サービスブロック補助金

知識開発・応用プログラム

## 厚生省 Goal5 公衆衛生システムの改善

厚生省戦略計画（1997年9月）から

過去50年間、アメリカの医療ケアシステムが救命や苦痛の改善において得たものは目を見張るべきものであった。診療的医学（clinical medicine）は、しかしながら、世紀の変わり目以来30年延びた期待寿命（life expectancy）のうち5年にしか寄与していない。公衆衛生介入は遥かに大きな影響力をもち、診療的医学と共に厚生省の求める改善を達成するために重要な役割を果たして行きつづける。公衆衛生システムは安全な飲料水を提供し、天然痘やポリオなどの主な伝染病を削減または排除さえ行い、食料供給の汚染も削減した。

州の保健機関は彼らの資源を引き伸ばし地元のパートナーを支援するべく創造的に働いている。しかし今日、多くの地元保健機関は十分な情報システムと訓練を受けたスタッフが現在の必要性に見合うには足りていないと報告している。技術的な溝は地元保健部門（department）の間で最も顕著で、そこでは多くのスタッフがコンピューターや電子的情報についての訓練もアクセスも不足している。

加えて、公衆衛生機関は以前公共診療所でサービスを受けていたメディケイド受給者がマネジドケアネットワークに移行したのに伴う影響を受けている。この移行は保健部門（department）から基本的な公衆衛生サービスを保つために役立っていた高い費用のためのメディケイド支援をなくしている。従って、このマネジドケアへの移行は保健機関にとって役割の変換、特に本質的公衆衛生サービスの全範囲を供給することに集中する機会、を意味している。そうする事により、しかしながら、人口基盤のサービスという直接ケアの反対のサービスのスタッフ訓練が必要になる。また、保健機関の基本的公衆衛生サービスを支援する資源の損失を明らかにする取組みにもつながる。

このような取組みは食品・薬品安全の分野においても存在する。薬品の分野では処方箋利用者料金法（PDUFA: Prescription Drug User Fee Act）のもとで新たな薬品とバイオロジクスをアメリカ国民により迅速に利用可能にすることで大きな進歩を遂げた。これは科学的検査（review）過程との矛盾なしに行われたものであるが、特にPDUFAの拡大という継続的進歩のために必要であるものについては更なる進歩が期待される。

食料供給の安全性保証は政府の最も長く重要な機能のひとつである。合衆国が世界で最も安全な食料供給をしている一方で、主な問題が明らかにされる必要がある；出現病原体（emerging pathogens）、新種・新奇の食品材料、有害なダイエット補助品（hazardous dietary supplements）、自然発生の食品起源毒（food-borne toxins）そして増加する

食料輸入など。汚染源は病原体そのものよりも更に多く、多種に渡っており、適切な調査や監察、予防活動の重要性が更に注目される。現在、利用可能な病原体検知の診断分析は深刻な限界に達しており、当省の食料供給の安全保証能力を脅かしている。

国家の公衆衛生システムを維持・改善して行くことは当省が最優先すべき課題である。この分野での投資は効果的なプログラムの保持・改善につながるであろう。厚生省は州や地域政府とともに訓練を受けた労働力と、適切に効果的につながる情報システム、そして公衆衛生サービスの本質を施すのに十分な構造・資源を確保することに努めなければならない。当省はまた、産業界（industry）や消費者とともに科学的基礎に基づいた規定、つまり費用や障害を最小化しつつ食料と薬品の供給を保護するものの新しいアプローチの実行に努めなければならない。

これらの活動は、長官室（OS: Office of Secretary）内の公衆衛生・科学課（OPHS: Office of Public Health and Science）を通じて協調され、疾病対策・予防センター（CDC: Center for Disease Control and Prevention）や保健資源・事業総局（HRSA: Health Resources and Service Administration）、インディアン保健局（IHS: Indian Health Service）、薬害・精神衛生総局（SAMHSA: Substance Abuse and Mental Health Services Administration）、FDA、保健医療資金総局（HCFA: Health Care Financing Administration）、児童・家庭総局（ACF: Administration for Children and Families）と提携していく。

## 厚生省 5.1 公衆衛生システムの健康状態を監視し国民の健康を脅かすものを明らかにする

厚生省戦略計画（1997年9月）より

監視（monitoring）やサーベイランス、評価システムは公衆衛生の基礎知識を提供し、ヘルスケアの質を改善する基盤となる。適時で適切な保健指標（health indicator）の変化や傾向データなしでは効果的な介入（interventions）の実行やその成功を監視することは不可能である。研究者、政策決定者、保健専門職、そして公衆は国や州、地域の保健データを適時に利用できることが重要である。これらのデータ源を生きた統計学や届出が必要な疾病報告、国家保健インタビュー調査、国家保健栄養試験調査、国家ヘルスケア調査として使うことによって、厚生省は死亡や乳児死亡、胎児期ケア、健康状態や生涯、保険の補償、ケアへのアクセス、保健行動（health behavior）、診断や治療、利用パターン、その他の重要な健康問題について学ぶことができる。国の要約情報は州や地方情報によって裏づけされ、資源の適切な目標を見ることができる。

これらのシステムは大きな改善を必要とする。州や地元保健機関、CDC スタッフ、厚生省データ評議会 (council) (保健・福祉サービスの変容に関する長官の調査イニシアティブを通じて) によって明示化されたデータ間のギャップはせばめられなければならない。データの電子的な収集許容量が地域レベルで不足していると国立の組織と個々の公衆衛生システムによって裏付けられた。この許容量の改善は地域における保健ニーズの把握や地域ベースの健康促進プログラムの結果を把握することにも必要不可欠である。電子的データ収集 (つまり紙のファイルではなくてコンピューターファイル) を地域レベルで行うことはデータ分析のスピードを速め地域の健康状態や保健ニーズがなぜ変化するかを理解することができる。従って、電子的監視、監督、評価システムへの投資は優先的に行われるべきである。

さらに、健康問題の種類や健康への脅威は過去 50 年の間に非常に大きな変化を経ており、その原因の一部は人間行動の変化や増加する国際貿易や海外旅行、環境変化、公衆衛生インフラの劣化などによるものと考えられる。ポリオや天然痘はもはや主要な脅威でなくなる一方、それらの鎮静が公衆衛生にネットの利得をもたらしたというわけではない。それらは HIV/AIDS や不意の傷害、環境起因の疾病、新種の伝染病 (食料由来の病気を含む)、効果的な薬に耐性を持ち始めた従来の疾病などに取って代わられているのである。危険因子 (つまり人間行動や環境の変化、伝染性の組織) の変化のパターンを理解すれば、地域の健康状態 (health status) や保健に対する必要性の変化に対応したプログラムの発展につながるであろう。例えば、ぜんそく率の増加が空気中の微粒子の増加によるものだと我々が知っていればそれらに対応した健康促進プログラムを開発できる; (1) 微粒子を削減するための政策・規制; (2) ぜんそくにかかる危険性を有する人々との危険度の高い環境を避けるなどのコミュニケーション (天気レポートをきく、微粒子レベルが高い時に彼らの肉体的活動を削減、etc); (3) 適切な医療ガイドラインや介入の利用可能性、等。

これらの新たな試練を乗り越えるために、当省はこれら新出の公衆衛生問題を認知・対応し最先端の技術と最も効果的な予防戦略を使用できるよう訓練された労働力を必要としている。

最後に、州政府は機関とサービスの再編成を行いサービス施行を改善し、費用を抑制することを目指す。これらの戦略は低所得者層や医療的弱者へのマネジドケア計画の迅速な拡大も含んでいる。多くの場合、この拡大によって、メディケイド払い戻しで排除することでこれまでそれらの人々にサービスしていた公衆衛生機関の資源を侵害する。そのような人々への公衆衛生保護サービスがマネジドケアの状態でも利用可能になるかどうかも課題である。

当省の特別な課題 (special concern) は先住アメリカインディアンと先住アラスカ人への公衆衛生サービスである。IHS と先住アメリカ人の診療ケアのための関係連邦基金は自治の過程のなかでその役割を部族政府に移譲してきている。この部族への分権化による規模の経済性の損失は、IHS の 1991 会計年度 (一定の 1995 ドルで) から世帯あたり 15% 減という予測と共に、サービスの維持と適切な公衆衛生インフラの保証を極めて難しいものになっている。

### 目的支援のためのプログラム

#### AHCPR

保健費用・質・結果についての調査  
医療支出パネル調査

#### CDC

保健統計  
伝染病  
HIV/AIDS 予防  
慢性病予防  
予防調査  
ガン登録簿 (Cancer Registries)  
大統領人種イニシアティブ  
伝染病サービス  
環境・職業保健

#### FDA

食品  
人的薬品 (Human Drugs)  
医療用具と放射線保健 (Medical Devices and Radiological Health)  
バイオロジクス  
動物薬品と飼料 (Animal Drugs and Feeds)

#### HRSA

国立開業医データバンク  
国立労働力情報・分析センター

IHS

治療

主要なプログラム/インフラ (Capital Programming/Infrastructure)

NIH

調査プログラム

OPHS

疾病予防・健康促進課、ヘルシーピープル 2000

緊急準備課 (Office of Emergency Preparedness)

国際・移民保健課

SAMHSA

薬害・精神衛生ブロック補助金 (Block Grants)

## 厚生省 5.2 食品・薬品の安全性を科学的基盤の規制の効率性を増加することで保証

厚生省戦略計画 (1997年9月) より

食品・薬品総局と食肉・家禽担当のアメリカ農務省 (USDA: United States Department of Agriculture) の努力の結果として、アメリカ国民は世界で最も安全な食料供給を受け、医療的生産物や薬品の安全性、信頼性、効率性を保証されている。FDA は市場から安全でないあるいは効果的でない生産物を排除するだけでなく勝ちのある生産物がすばやく利用可能になるように保証している。市場に既に流通している食品・生産物について FDA の役割は安全性の保証の一つである。この役割における有効性は監督と CDC により指揮されている (戦略目標 5.1 を参照) プログラム活動により強化される。

過去の成果がいくらすばらしくても、引き続きの注意が必要である。例えば、アメリカの食料供給が他の先進諸国の中でも安全性においてぬきんでているとは言え、食品による病気は以前として公衆衛生を脅かしており、ヘルスケアの費用増大に大きく貢献している。食品関連の害の中でも、微生物が際立っている。これは確認されている発生源の 90% にもものぼり、3 千 3 百万の病気、9 千の死、30 億ドルの費用を毎年費やしている。

強力な調査許容量と新しい規制課題を明示化し、対応する能力は、これまでもそしてこれからも FDA の成功において重要な要因である。この機関の 21 世紀へ向けた戦略的課題は減少する資源と拡大する需要の政府規模の規制を有効なものとして維持すること

である。2002年までに1994年の購買力の70%と予想された資源で、FDAは複雑で多様化した新製品を増加する国内食料生産・監督すべき輸入食料と共に検閲する仕事が増えるであろう。

#### 目的支援のためのプログラム

FDA

食品

人的薬品

医療用具と放射線保健

バイオロジクス

動物薬品と飼料

国立毒物調査センター

CDC

伝染病

伝染病サービス

HCFA

メディケア

メディケイド

調査

## 厚生省 Goal6: 国家衛生科学研究の強化および生産性の向上

厚生省戦略計画（1997年9月）より

衛生の改善は、厚生省とほか公的私的機関の指揮、支援による研究から得られる知識に基づくものである。支援の対象となる研究の範囲と内容については、厚生省が世界的視野から医療、疫学、行動学、衛生サービスのための研究を設定する。そのために衛生サービスの研究に対する強力かつ継続的な公的支援が欠かせない。

NIH（国立衛生研究所）は、医学的研究計画の中心を担う。NIH 支援による研究は、アメリカ

リカ大衆の衛生と生活の質の向上のためとなる知識を見い出している。またたえず商業製品の発展のための知的基礎も拡大しており、それは製薬、医療装置、バイオテクノロジー産業から他の国家的医療研究のインフラの主要な部分にまで及んでいる。研究支援によって、NIH は国家のもと、公的研究活動やバイオテクノロジー他関連産業に端を切る優秀な鍛えられた研究者を輩出する。重要なことは、アメリカ国民の衛生向上の未来は、NIH の支援の下展開されてきた研究インフラの維持とその研究への投資を高度に生産的なものとした基本方針を継続することである。

CDC（疫病対策予防センター）もまた、公衆衛生の保護と疫病、傷害、不具の予防、対策のための疫学的人工学的研究にとって強力な計画を押し進めている。

つまり、わが省による衛生サービスの研究は、日々の社会状況における活動の中で何が最も効率的でしかもコスト効率的かを認識し、そのサービスを実践、融資する上で最も効率的なアプローチを認識することによって重要な位置を占める。幅広い科学的な訓練や省内での活動に対し、研究投資を拡大すれば、衛生面でもサービスの種類や質の面でも何よりも向上を果たすことだろう。

同時にまたわが省は、国家の研究計画の生産性について、私的な研究投資を促すような国際的な科学的協調や調整政策を通して向上させていきます。

四つの戦略を省の研究投資の戦略の中心とする：

### 基本研究

第一に、生活科学における基本研究及び衛生サービスにおける基礎的な方法論上の作業が大変優先される。生活科学の分野では、バイオテクノロジー産業の歴史から知恵を得ればよい。また基本研究に関しては、厚生省は疫学的臨床学的、衛生サービスの研



究に投資をしている。今のところそれは公的領域でも私的領域でもよりよい経営と償還をもたらしている。

#### 研究者参加型研究

第二に、研究者参加型研究への支援が重視される。省は、伝統的に科学へトップダウンに向かうことを避け、代わりに個人の研究者を大切にし、幅広い研究目標の中でその代理人から公表される政策優先事項に基づいて特定の研究計画を企画し実行している。その結果、厚生省は科学者の創造力を利用して、国家に人の健康と豊かさを向上させる無比の効果を及ぼすのである。

#### 詳細な見直し

第三に、研究の企画と成果の質を評価する詳細な見直しを大切にする。中でも競合する研究のアイデアに対して技術的なメリットを認めることは、どの研究代理人にとっても難しい仕事の一つである。例年厚生省は、適切な科学的機関からの先進的な専門家のアドバイスを採って注意を振り向けることから、最も有望な科学的機会や最も可能性豊かな研究者への直接投資に大いなる成功を収めている。

#### 研究能力、インフラ

第四に、省は幅広く制度面への研究を支援し、利潤追及分野へも衛生研究計画を促進する。大学や非利潤研究組織、病院、ほか実践的機関、大小の会社、政府の研究所—それぞれが重要な科学的創意にとってよりよい環境を提供する。また学問的制度に基づく独自の役割の観点から見れば、省は研究に熱心な大学が依然強力になるように協力し続けていく。特に臨床研究や衛生専門家の教育といったものの不安定な結果に対処するには適切にコスト配分できる政策を維持し、学問的な衛生センターと提携する。最終的に省は、高資格の科学研究員を増強するつもりである。

わが省は、これらの方針を戦略の核として、衛生科学の国家的知識の基礎を増大しその質を維持するために新たに投資をしていくことを改めて誓う。そして厚生省はそれを年の第一の目標として、より広く適用できるように考える。

#### 厚生省 6.1: 正常、異常生物学的処置、行為の解釈の向上

##### 厚生省戦略計画（1997年9月）より

基礎的な生物学的処置の解釈の進展は、衛生向上と疫病、不具対策にとって大切である。生涯を通してなされる生物学的行動学的処置における新たな知識は、疫病の成り

行きを知り、それをいかに遅らせたりそれに対処したり治したり永遠に予防するかを解釈するために最も頼れるものである。

集合体の全ての段階における基本的な科学研究は、日常私たちが経験する事物を研究の最も基礎的な構成要素へと降ろす。この発展は新しい科学的な技術的な知識を導き、数年で革新的な製品や商業利潤をもたらす。そしてこの進歩によって数百万の高度技術、高賃金労働が生まれ、アメリカ人の生活は大きく向上しているのである。

医療研究と衛生向上との関連は、ほぼ毎日積み重ねられた人のさまざまな遺伝子の特性についての広大な新しい知識によって明らかにされる。さまざまな種類のガン及び他の長期疫病の分子的メカニズムの解釈には、この研究が新しい考え方、手段をもたらしており、また予防、治療の新たな活路を切り開く。

#### 目的支援のプログラム

NIH  
研究

#### 厚生省 6.2: 疫病及び不具の予防、診断、処置の向上

##### 厚生省戦略計画（1997年9月）より

医療研究は、新しく改良された疫病の発見、診断、処置の方法へと変換されうる知識をもたらす。平常の疫病処置について新しく洞察することで、予防策発展のための知識が提供され、その予防策は衛生向上の決めてとなる。

この研究の重要性は、1996年国家科学技術会議の報告書で「国家の興味とする技術」としてまとめられた。それによると医療研究の貢献に対して NIH 国立衛生研究所から支援を受けた研究は、アメリカ国民の健康と生活の質向上をさせた多くの発見をもたらしている。これは NIH の主に目標するところでもあるが、医療研究は同時にまた技術的経済的利益も生んでいる。

加えて、CDC での研究は、病原菌や免疫学の解釈そして疫病の伝染予防の基本に貢献するものである。

#### 目的支援のプログラム

AHCPR

衛生のコスト、質、結果の研究

CDC

乳ガン、頸ガン/予防研究/流行性サービス/予防センター/伝染病/環境病の予防/性的伝染病/職業的安全、衛生

FDA

食料/人の製薬/医療計画と放射線学的衛生/生物学的薬剤/動物の製薬及び食料/国立毒物研究センター/たばこ

NIH

研究

OPHS

厚生省 6.3: 人工学的研究を通じた公衆衛生予防の努力の向上

厚生省戦略計画（1997年9月）より

伝染性の疫病の拡散に対策を立て、病気の環境的原因を減じ、病気および早期の死亡を予防する衛生行為を促進させる研究は、厚生省が国民の健康と生活の質向上のために努力している主なところである。省内では、CDCを中心に人工学的に公衆衛生研究がなされている。この研究によって、省及び公衆衛生機関は公衆衛生問題を解決し予防計画の効率性を向上させる。たとえば、公衆衛生の問題となった性的伝染病及び幼児期の水銀中毒に関する研究は、それらの疫病の対策を大いに促進する。

目的支援のプログラム

CDC

予防研究/糖尿病ほか慢性疾患/流行性サービス/予防センター/伝染病/環境的疫病の予防/職業的安全、衛生/傷害予防、処置

HCFA

国民医療保障

IHS

## 処置及び予防

### OPHS

厚生省 6.4: 衛生医療サービスの解釈及びその質、財政、コスト、コスト効率性に関する反響の向上

厚生省戦略計画（1997年9月）より

国家衛生医療システムは、病院システムと製薬会社、衛生計画、管理運営会社の間における急激な合併と獲得の結果として、劇的な変貌を遂げている。衛生医療公表システムは、より大きく複雑であり、コストの圧力はいかにそしてどこで医療をとるかという点に焦点が向けられ、しかも住民はますます高齢化している。

衛生サービス研究は、日常の衛生医療の実践に対するものであるが、衛生医療サービスのコスト、質及び効率性の現況変化と革新の影響を評価するために必要なものである。多くの重要な疑問が解決される必要がある、誰が医療に携わり、どれだけの医療を施し、どんな種類のサービスを提供して何か違いはあったか、提供された医療のコストと質はどんなものか、どのサービスが最もコスト効率的か、効率的な処置に関する研究成果がいかにより速く日常に実践できるようになるか。サービスの質、病人の満足度、効率性、結果を強化する新しい手段や製品が求められる。衛生サービス研究は、特に国民医療保障のような連邦計画における支出の改善を図るのに分析的な基礎付けを提供する意味で重要である。

### 目的支援のプログラム

#### AHCPR

衛生コストと質そして結果の研究/医療支出のパネル調査

#### HCFA

メディケイド/国民医療保障/研究と発表

#### HRSA

農業衛生政策の発展

#### NIH

研究計画

SAMHSA

知識開発と応用

厚生省 6.5: 私的分野での新薬、生物学的治療、医療技術の発展を促進

厚生省戦略計画（1997年9月）より

省の最も重大な使命の一つに公衆衛生を維持するというものがある。省は私的分野での研究による新薬や医療製品の見直しや承認を含め、さまざまな方法でこの仕事を遂行する。この見直しや承認過程は、FDAが行い、市場へ流れ出る製品の効能と安全性を図っている。

近年の公開検討会によるところでは、アメリカ大衆に便利に発展しつくられた新しい衛生製品のためにかかる時間が問題となっている。省は、危険で有効的ではない製品から衛生を守るために適切なプロセスの必要性和市場へ製品を送り出すことによる利益の関係を図っている。それにもかかわらず、研究及び発展を促進し市場へ売り出すことによる衛生面での利得が魅力的なことも分かる。そこで研究、発展のプロセスを促進し、衛生製品を迅速に市場へ送り出す点で医療産業を助成し、公衆衛生の利益を増強することが重要であると考えられる。

目的支援のプログラム

CDC

伝染病

FDA

人の製薬/生物学的薬剤/動物の製薬及び食料/医療計画と放射線学的衛生/国立毒物研究センター

NIH

研究計画

厚生省 6.6: 高資格科学研究者の強化による医療、衛生科学研究の質の向上

厚生省戦略計画（1997年9月）より

国家の衛生向上は、厚生科学、衛生サービス研究における才能豊かな幹部研究者の有

無にかかっている。丈夫で多才な研究人員-研究所における病人に適用した人口学的構造研究-は、省の任務遂行において中核となり、また医療研究計画そして関連産業の現在と未来の活力への中心となる。

#### 目的支援のプログラム

##### AHCPR

衛生のコスト、質、結果の研究

##### CDC

予防研究/流行性サービス/伝染病

##### NIH

研究/研究養成とキャリア開発

##### SAMHSA

知識開発と応用

厚生省 6.7: 研究成果が効果的に国家、開業医レベル、そして科学機関に伝達されることを保証

厚生省戦略計画（1997年9月）より

研究成果が迅速に伝わることは、新しい知識が医学的実践や人の衛生や豊かさを向上させる技術へ転換されるに大切なものである。効率的に伝われば、科学の革新は進み、新しい発見は促され、研究での公的投資が新しい予防策や診断方法、対応策をもたらす。

#### 目的支援のプログラム

##### AHCPR

衛生のコスト、質、結果の研究

##### CDC

HIV, AIDS 予防/性的伝染病/結核/糖尿病ほか慢性疾患/心臓病及び衛生促進/乳、頸ガンの予防/予防センター/伝染病/先行毒物/衛生分析/予防研究/流行性サービス/環境病

の予防/職業的安全と衛生/人種的民族的相違の削減

FDA

食料/人の製薬/医療計画と放射線学的衛生/生物学的薬剤/動物の製薬及び食料/国立  
毒物研究センター/たばこ

IHS

臨床

NIH

研究

OPHS

疫病予防と衛生促進の事務所/マイノリティーの衛生事務所/女性の衛生事務所/公衆  
衛生局長官の事務所

SAMHSA

知識開発と応用

19990028

以降のページは、参考資料として、GPRA 法原文、厚生省戦略計画原文、1999年年次業績計画原文、2000年年次業績計画原文が掲載されています。